

昇級審査 進行について（引き継ぎの為の参考資料）

- 1、集 合 ； 正面に向かって 右側に 格付け、6級、5級、4級、3級、2級の順に並ぶ
- 2、挨 拶 ； 麻生区剣道連盟の昇級審査会を始めます
姿勢を正して、上席に礼！（上席の先生には前以って起立してもらう）その後着席
- 3 会長挨拶： 麻生区剣道連盟会長にご挨拶をお願いいたします。 **お互いに礼！**
挨拶が終わったら **お互いに礼！**
- 4 続いて審査員長からの挨拶と注意事項 ；
審査員長から審査についての注意事項があります。 **お互いに礼！**
（ 話が長くなるので、 全員着座して聞くようにします ） **全員着座！**
説明が終わったら **着座のまま、お互いに礼！**
- 5 進行について ； これから昇級審査の進行について説明します。
説明書に従って説明する。

進行係 ； 通常 3名です
1名は立ち合い、 1名は審査順番の指導、 1名は次のグループの準備をする為
後方にて 番号順に整列させ、着装・面付け等を管理する
低学年は進行を早める為、多少の指導・手伝いを認めます。
ただし、公平を期するため父母の援助は認めません。
面付けは4年生以上の者は自分で付けられる事が条件です。手伝ってはいけません。

木刀による基本技 審査 ；
3級・2級に合格した者を集合させ、3級から審査します。
3級は4本迄、 2級は6本迄
前以って 元立ち と 掛かり手 を決める

号 令 ； **基本1 一本打ちの技 始め！、 基本2 連続技 始め！**———のように
元立ち と 掛かり手 を 交代して審査する

立ち合い者は常に 審査員長の挙手に注意して行動する。
立ち合いは 総て 右手で指示する。両手は使わない **始め！ 止め！**
立ち合いの位置はあまり動かない。場外や危険を伴う場合には止めをかけ仕切り直させる。

特別注意 ； 小学生の格付け審査は前以って元たちを3～4名選任して、切り返しは 3年生迄は
面で受ける事、 4年生以上は竹刀で受ける事を指導して下さい。

